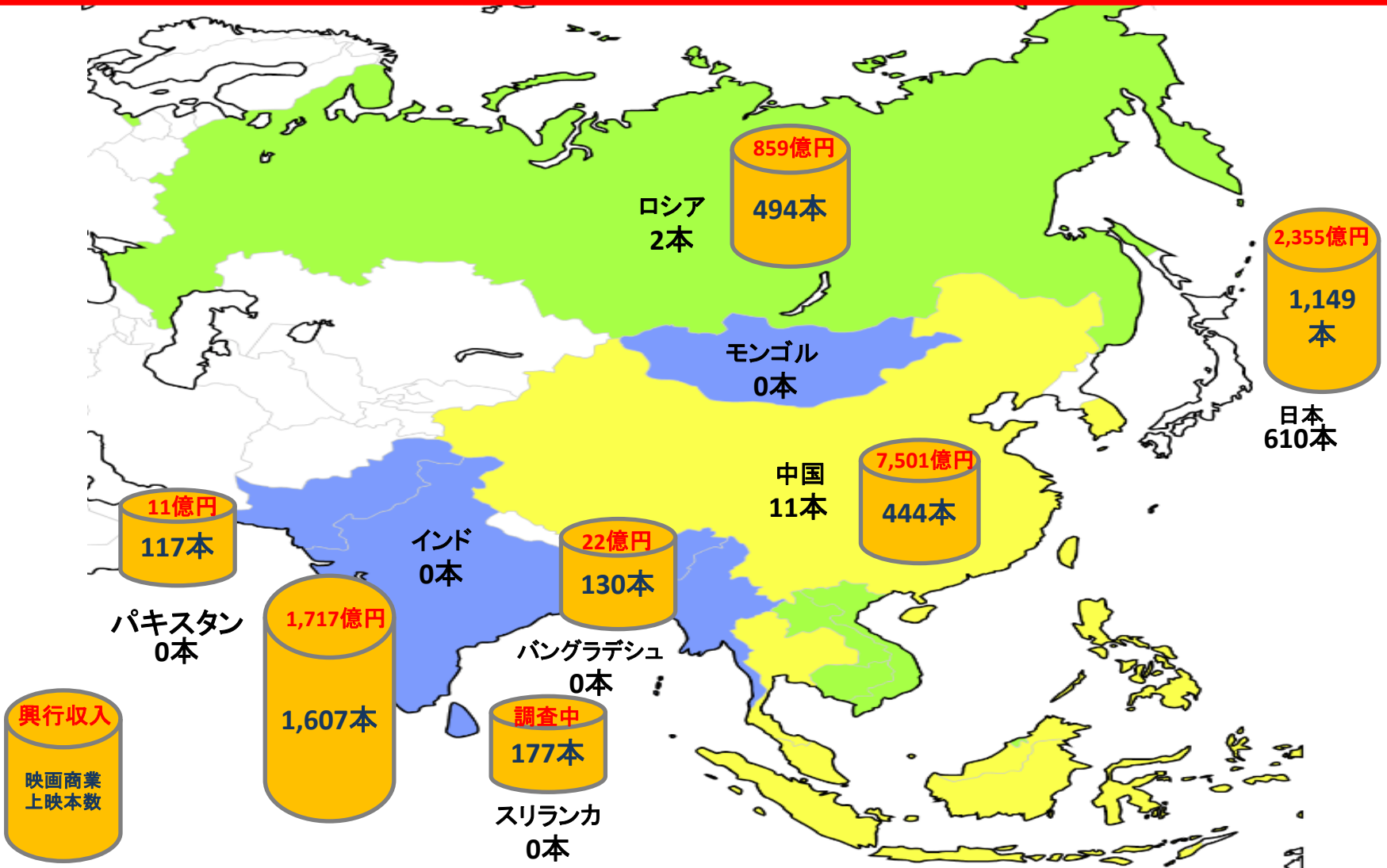


日本映画の海外展開の状況（2016年）

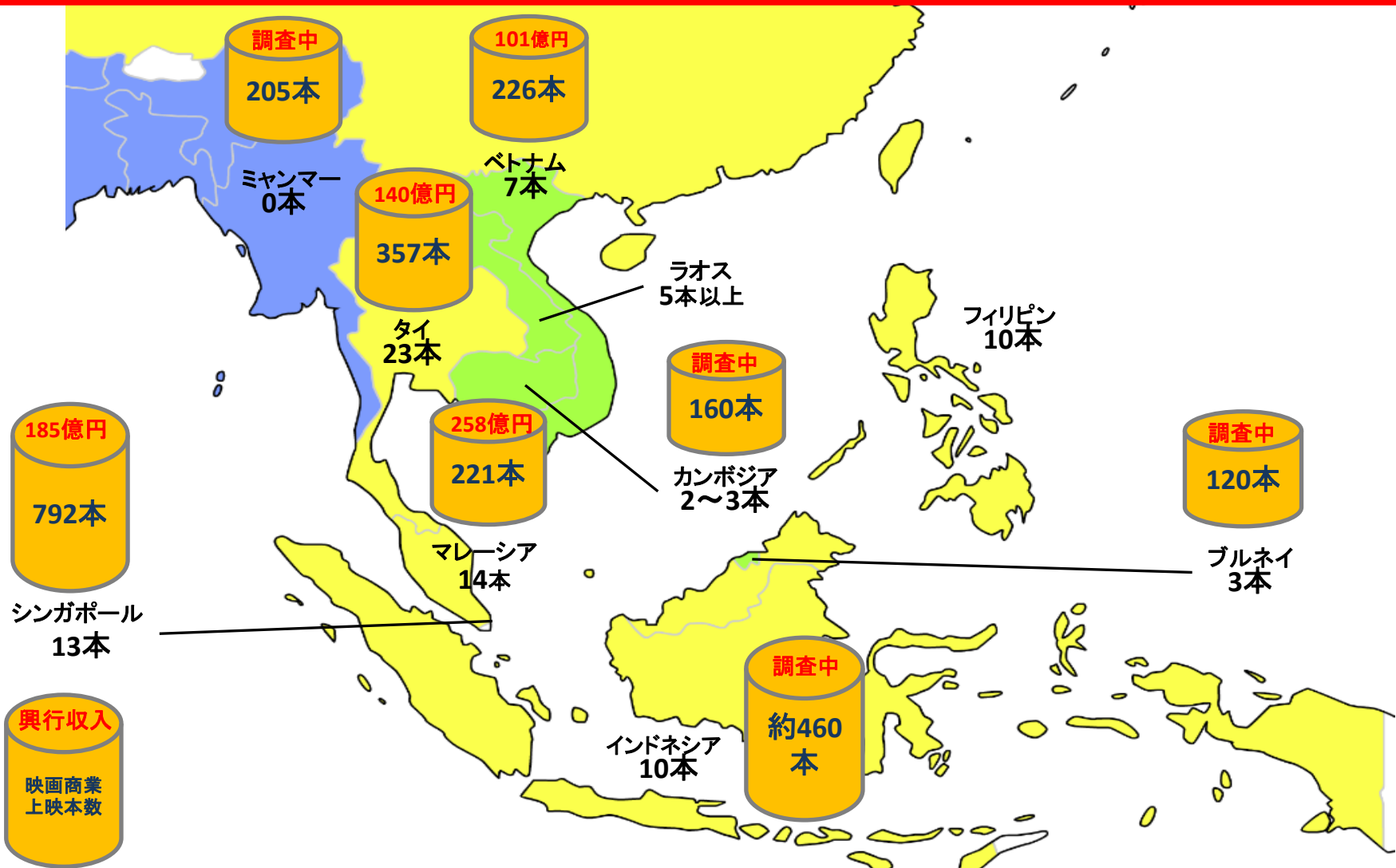
- ✓ 世界第2位の市場を誇る中国では、11本の日本映画が商業上映。アニメが人気。
- ✓ 他方、インドをはじめ南西アジア及びモンゴルでは、日本映画は商業上映されていない。
- ✓ ロシアでは、日本映画の商業上映は2本にとどまる。



(注) 数値は2016年実績。ただし、インドの上映本数のみ2015年実績。
 国名の下部の数字は日本映画の商業上映本数(青色:0本, 黄緑色:1~9本, 黄色:10本以上)。

日本映画の海外展開の状況（2016年）

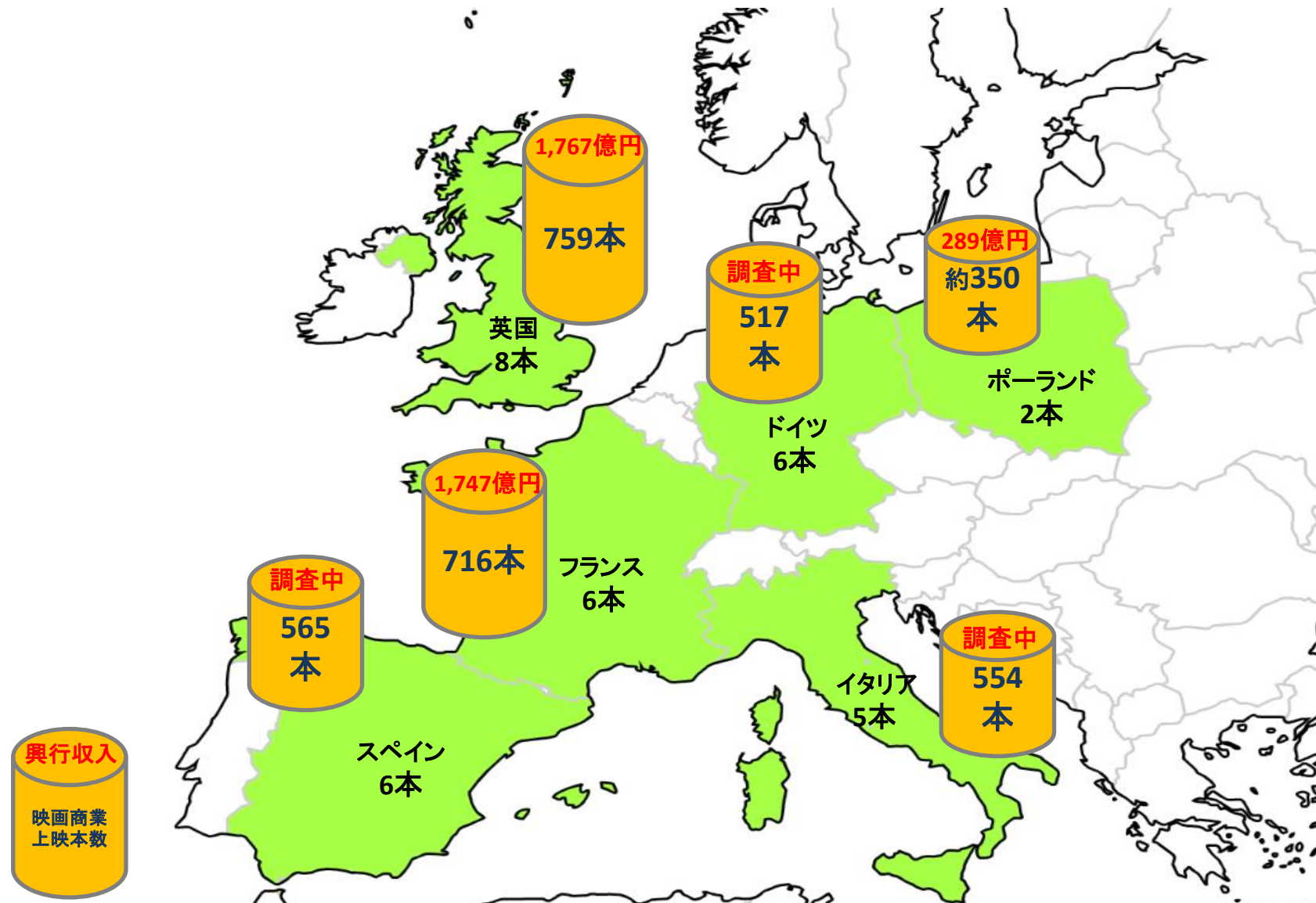
- ✓ タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピンでは、日本映画を買い付けるバイヤーが存在しており、アニメ・実写を問わず日本映画が浸透。
- ✓ ただし、規制等により、ミャンマーでは、日本映画の商業上映は0本。



(注) 数値は2016年実績。ただし、ベトナムの興行収入は2014年実績、シンガポールは商業上映許可本数。国名の下部の数字は日本映画商業上映本数(青色:0本, 黄緑色:1~9本, 黄色:10本以上)。

日本映画の海外展開の状況（2016年）

✓ 安定的な市場であり、映画ファン層に厚みがあるが、日本映画の浸透が十分図れていない。



興行収入
映画商業
上映本数

(注) 数値は2016年実績。ただし、スペイン、英国、ドイツは2015年実績。
 国名の下部の数字は日本映画商業上映本数(青色:0本, 黄緑色:1~9本, 黄色:10本以上)。